

額ッテ一方總督政治ニ於テハ、年頭以來修養鍊成、生産増強及庶政刷新ノ三項目ヲ掲ゲテ國體明徹
道義顯揚ノ目標ニ向ヒ進發シ、加フルニ近々義務教育制ト徴兵制ノ實施ヲ控ヘ、之ガ十全ナル準備ニ
邁進シツ、アリマス。

八〇

是ニ於テカ聯盟ハ、總督政治ト表裏一體ノ境地ニ於テ重大使命達成ノ爲メ、昭和十八年度ノ運動主
目標ヲ、道義朝鮮ノ確立、皇民ノ鍊成、決戦生活ノ確立、必勝生産力ノ擴充及徴兵制準備徹底ノ五點
ニ置キ、之ニ照應シテ事業計畫及豫算ヲ編成シ、強力果敢ニ目的達成ニ邁進スル覺悟デアリマス。
仍テ聯盟理事諸君庶幾クハ、時局ト半島ノ實務トニ對シ、眞ニ透徹セル理解ト關心トヲ把持シ、本
聯盟ノ運動ヲ以テ眞ニ諸君自ラノ職場ト爲シ、進ムデ機會ヲ求メ聯盟各機構ノ長ヲ通ジテ、愛國班長
自ラノ皇民鍊成ヲ指導昂揚シ、各層ニ於ケル聯盟運動ノ實績ヲ觀察シテ之ニ一段ノ工夫ト創意トヲ注
入シ、半島大衆ヲシテ常ニ希望ト明朗性ヲ抱懷セシメツ、道義ニ立脚シテ生活ヲ規正シ、増産ニ勵ミ、
國語ニ熟シ且ツ規律節制ニ慣レシムル様、一段ノ奮勵活動アラムコトヲ翹望シテ止ミマセヌ。
以上理事會開催ノ冒頭ニ方リ一言希望ヲ述ベテ訓示トスル次第デアリマス。

國民總力運動ノ概況

嚙ッテ一方總督政治ニ於テハ、年頭以來修養鍊成、生産増強及庶政刷新ノ三項目ヲ掲ゲテ國體明徹
道義顯揚ノ目標ニ向ヒ進發シ、加フルニ近々義務教育制ト徴兵制ノ實施ヲ控ヘ、之ガ十全ナル準備ニ
邁進シツ、アリマス。

八〇

是ニ於テカ聯盟ハ、總督政治ト表裏一體ノ境地ニ於テ重大使命達成ノ爲メ、昭和十八年度ノ運動主
目標ヲ、道義朝鮮ノ確立、皇民ノ鍊成、決戦生活ノ確立、必勝生産力ノ擴充及徴兵制準備徹底ノ五點
ニ置キ、之ニ照應シテ事業計畫及豫算ヲ編成シ、強力果敢ニ目的達成ニ邁進スル覺悟デアリマス。
仍テ聯盟理事諸君庶幾クハ、時局ト半島ノ實務トニ對シ、眞ニ透徹セル理解ト關心トヲ把持シ、本
聯盟ノ運動ヲ以テ眞ニ諸君自ラノ戰場ト爲シ、進ムテ機會ヲ求メ聯盟各機構ノ長ヲ通ジテ、愛國班長
自ラノ皇民鍊成ヲ指導昂揚シ、各層ニ於ケル聯盟運動ノ實績ヲ視察シテ之ニ一段ノ工夫ト創意トヲ注
入シ、半島大衆ヲシテ常ニ希望ト明朗性ヲ抱懷セシメツ、道義ニ立脚シテ生活ヲ規正シ、増産ニ勵ミ、
國語ニ熟シ且ツ規律節制ニ慣レシムル様、一段ノ奮勵活動アラムコトヲ翹望シテ止ミマセス。
以上理事會開催ノ冒頭ニ方リ一言希望ヲ述ベテ訓示トスル次第デアリマス。

國民總力運動ノ概況

一、國民總力運動ノ發足

一祝同仁ノ 聖旨ニ遵ヒ新附同胞ノ皇國臣民化ハ朝鮮統治ノ根本方針ニシテ歷代總督ノ特ニ意ヲ用ヒラレタル所ナルガ支那事變ノ勃發ニ依リ帝國ハ舉ゲテ東亞新秩序建設ノ大業ニ邁進スルコト、ナリ大陸ニ於ケル前進兵站基地タル朝鮮ノ負荷愈々加重セラレ半島同胞ノ搖ギナキ精神的團結ト國民的鍊成ハ帝國ノ國策遂行上絕對不可缺ナル前提條件トナレルニ鑑ミ昭和十三年七月七日支那事變一周年ヲ期シ内地ニ於ケル國民精神總動員運動ニ呼應シ、舉國一致、堅忍持久、盡忠報國ノ三目標ノ外ニ内鮮一體ノ具現ヲ眼目トスル國民精神總動員運動ヲ起シ官民一致全鮮津々浦々ニ至ル迄強力ナル實踐組織網ヲ結成シ國民精神ノ振起昂揚ヲ圖リツ、アリタリ。

然ルニ昭和十四年秋勃發セル歐洲動亂ハ國際情勢ニ重大ナル影響ヲ齎シ帝國ハ獨伊ト俱ニ世界新秩序建設ノ重責ヲ負荷スルニ至リ右情勢ニ即應スル國內新體制ノ改組強化化ノ必要ヲ痛感セラル内地ニ於テ大政翼賛運動ノ發足ヲ見タルヲ機トシテ昭和十五年十月從來ノ國民精神總動員及農山漁村振興運動ヲ主流トスル物心兩方面ノ凡有運動ヲ統合包攝シテ國民總力運動ト稱シ總督政治ト表裏一體タル強カナル國民運動ヲ展開シ今日ニ至レリ。

二、國民總力運動ノ目標及特異性

國民總力運動ノ目標ハ國體ノ本義ニ基キ内鮮一體ノ實ヲ擧ゲ各々其ノ職域ニ於テ奉公ノ誠ヲ捧グ其ノ總力ヲ結集シテ皇運ヲ扶翼シ奉ルニアリ、從ツテ其ノ根本方針ハ内地ニ於ケル大政翼賛運動ト異ナル所ナシト雖モ半島ノ特殊性ヨリシテ次ノ如キ特異性ヲ有ス。

- (1) 國體ノ本義ニ透徹特ニ半島同胞ノ皇國臣民化ニ重點ヲ置ク。
- (2) 本運動ハ所謂臣道實踐、職域奉公ヲ眼目トスル國民實踐運動ニシテ政治運動タルノ性格ヲ有スルモノニアラズ。
- (3) 本運動ハ其ノ發足當初ヨリ從來ノ國民精神總動員運動並ニ過去八箇年ニ亙ツテ顯著ナル功績ヲ殘シタル農山漁村振興運動ノ二大運動ヲ始メ經濟、産業、文化等物心各般ノ諸運動ヲ統合包攝シテ一元的運動體制ヲ確立シタル沿革ヲ有ス。
- (4) 運動機構ハ僻陬愛國班ニ至ル迄上下左右ニ完全ナ組織網ガ完備サレ而モ道以下町洞里部落ノ末

端組織迄行政機構ト表裏一體ヲ爲シ總督施政ノ輔翼機關タル機能發揮ニ遺憾ナカラシム而シテ本運動ハ上述ノ如キ目標及特異性ヲ有スト雖モ大東亞戰爭決戦ノ現段階ニ於ケル之ガ指標ハ他ク迄モ戰爭完遂ニ總力ヲ結集シ鐵桶ノ構ヲ完備スルニアリ、從ツテ之ガ爲ニハ朝鮮二千四百萬民衆ノ心構ヘテ其ニ戰時體制ニ切替ヘル爲修養鍊成ノ徹底の實踐及戰時下半島ノ負荷スル使命完遂ノ爲生産戦力ノ決戦の増強ノ二大重點ニ則リ本運動ノ活潑ナル展開ヲ期セザルベカラズ。

三、國民總力運動ノ機構

一、指導機構

- (1) 大東亞戰爭下情報啓發宣傳事務ト國民總力運動事務ノ重要性並ニ兩者ノ相關關係ハ正ニ表裏一體、形影相伴フノ關係ニアリ昭和十七年十一月本府機構改革ノ際新ニ總務局ガ設ケラレルヤ從來ノ官房情報課及司政局國民總力課ヲ總務局ニ移管シ合理的一體化ヲ圖リ事務遂行ノ圓滑ヲ期シ本運動ノ中央指導機構トシテノ機能ヲ發揮セシムルコト、セリ。
- (2) 國民總力運動連絡委員會、總督府ニ本委員會ヲ置キ政務總監ヲ委員長トシ本府各局長、勅任事務官、關係課長、陸海軍關係官、朝鮮聯盟事務局幹部等二十五名ノ委員ヲ委嘱シ其ニ軍官民ノ連絡機關トシテ總督施政ノ圓滑ナル總力運動ヘノ移行具體化ニ付毎月一回定例的ニ委員會ヲ開催シ重要事項ヲ審議策定シ其ノ決定事項ハ直ニ國民總力運動トシテノ實踐ニ展開セシム。
- (3) 道、各道ニ國民總力課ヲ置キ本府ノ方針ニ則リ國民總力運動事務下情報啓發宣傳事務トヲ主掌シ運動ノ指導並連絡調整ニ任ス。

(c) 府郡島、各府郡島ニ指導ノ要員トシテ專任職員ヲ配置シ運動ノ正常ナル展開ニ努メツ、アリ。

二、實踐機構

國民總力運動ハ其ノ發足ニ於テ官ノ濃密ナル指導誘掖ヲ必要トシタル關係上之ガ機構ニ於テ其ノ中央部ヨリ末端組織ニ至ル迄全ク行政機構ト表裏一體關係ニ於テ推進サレ來リタルガ、中央部ノ機構ヲ改革シ純然タル民間運動トシテ之ニヨル創意工夫アル清新潑刺タル運動ノ展開ヲ企圖シ昭和十七年十一月中央機關タル事務局ノ改組ガ行ハレ從來ノ總務、地方、殖産、農林、貯蓄、輔導、防衛指導、文化、訓練、厚生、宣傳ノ十一部ヲ總務、鍊成、經濟、厚生、宣傳ノ五部トシ各部長ニハ全部民間人ヲ配シ新發足ヲナセリ。

(d) 朝鮮聯盟

實踐機構ノ中央組織トシテ京城ニ國民總力朝鮮聯盟ヲ設ケ總督ヲ總裁ニ、政務總監ヲ副總裁ニ推戴シ全鮮ノ軍官民ノ首腦者又ハ有力者ヨリ顧問、參與、理事、評議員、參事ヲ委嘱シ更ニ事務局ヲ置キ左表ノ如ク總務、鍊成、經濟、厚生、宣傳ノ五部ヲ設ケ理事中ノ適任者ヲ部長ニ其他ノ理事、參事ヲ部員ニ配シ聯盟運動ノ參謀本部タラシム

事務局總長	陸軍中將 波田重一	總務部長	簡牛凡夫
		專務理事	大家虎之助
		鍊成部長	田中英
		經濟部長	孫永穆
		厚生部長	津田剛
		宣傳部長	

(e) 地方聯盟

朝鮮聯盟ノ組織網トシテ地方行政機構ニ準ジ道ニ道聯盟ヲ、府郡島ニ府郡島聯盟ヲ、邑面ニ邑面聯盟ヲ、町洞里部落ニ町洞里部落聯盟ヲ夫々結成シ道聯盟ハ知事ヲ會長ニ、府郡島聯盟ハ府尹、郡守、島司ヲ理事長ニ、邑面聯盟ハ邑面長ヲ理事長ニ、又町洞里部落聯盟ハ總代又ハ區長ヲ夫々理事長トシ之ニ各地域内ニ於ケル軍官民ノ幹部、有力者ヲ役員ニ委嘱シ、軍官民渾然一體ノ下ニ本運動展開ニ萬全ヲ期シツ、アリ。

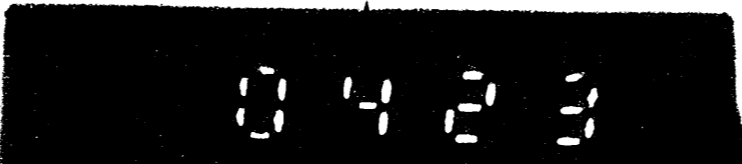
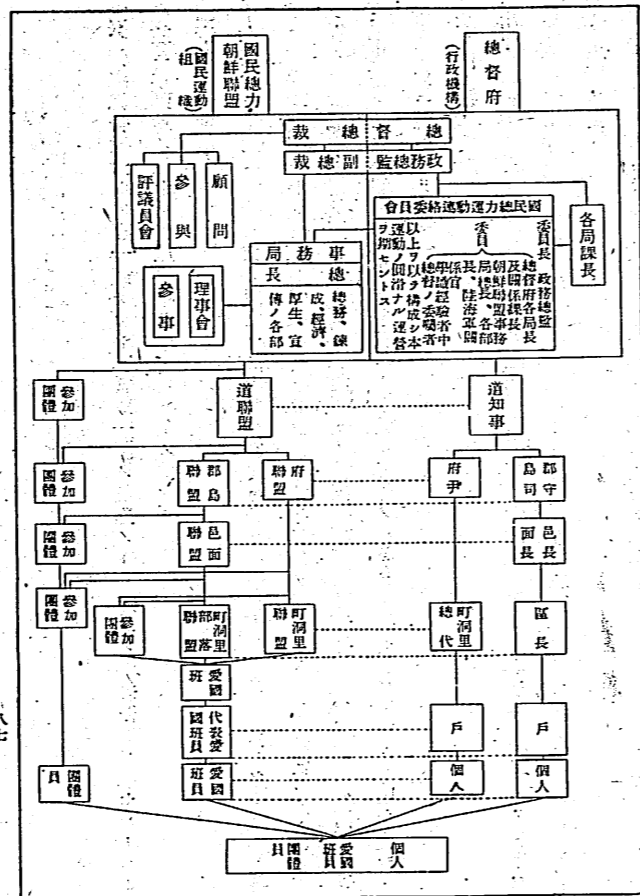
(f) 各種聯盟

各官公署、學校等ハ勿論、會社、銀行、工場、鑛山、大商店、其他凡有團體ハ夫々職域ニ依ル聯盟ヲ結成シ何レモ所在府邑面聯盟ニ隸屬スルト共ニ團體内上下ノ系統ヲ保チ夫々職域奉公ニ邁進シツ、アリ。

(二) 愛・國・班

愛國班ハ内地ノ隣組ニ比スベキ本運動ノ基底組織トシテ地方聯盟タルト各種聯盟タルトヲ問ハズ
 地方聯盟ニ於テ六十戸ヲ標準トシ、各種聯盟ハ適當人員ヲ以テ構成ス。昭和十七年四月現在全鮮
 愛國班數ハ實ニ四十三萬ニ達ス。

國民總力運動本部組織圖



四、國民總力運動ノ現況

本運動ハ他迄總督政治ト表裏一體ヲナシ軍官民一體ノ氣運ノ下ニ施政ノ滲透徹底ヲ期セントスルニアリ、今茲ニ本運動ノ主ナル實施事項ヲ舉グレバ左ノ如シ。

(1) 大詔奉戴日ノ實施

昭和十七年一月全國ニ大詔奉戴日設定セラル、ヤ朝鮮ニ於テモ昭和十二年以來實施シ相當ノ效果ヲ收メツ、アリシ毎月一日ノ愛國日ヲ廢シ此ノ日ヲ以テ全半島民ノ常會日トシ全鮮隈ナク國旗ノ下ニ常會ヲ開キ國民儀禮、講話、申合事項、皇國臣民ノ誓詞齊誦、神社參拜ヲ爲シ、又官公衙、學校、會社、工場等ニ於テハ詔書奉讀式ヲ舉行スル等益々必勝ノ意氣ヲ昂揚シ各自一段ト職域奉公ニ邁進シ以テ、聖旨ニ應ヘ奉リ聖戰完遂ニ寄與セシメツ、アリ。

(2) 每朝宮城遙拜ノ實施

忠誠報國ノ思想ヲ涵養シ殊ニ朝鮮同胞ノ皇國臣民タルノ信念ヲ堅確ニシ急速ニ内鮮一體ノ具現ヲ期セシメ、毎朝一定時ニ、ラデオ、サイレン、鐘等ノ號報ニ依リ全鮮一齊ニ宮城遙拜ヲ爲シツ、アリ。

(3) 正午ノ默禱ノ實施

北方ノ護リヲ固メ皇運扶翼ヲ契ヒ併セテ皇軍ノ武運長久祈願並護國ノ英靈ニ感謝ノ爲大詔奉戴日共

(4) 時局認識ノ徹底

ノ他多數會合ノ際ハ勿論毎日正午ノ號笛ヲ合圖ニ半島全民衆其ノ在所ニ於テ默禱ヲ捧グツ、アリ。

支那事變勃發以來變轉極リナキ國際情勢下ニ於テ帝國ノ東亞ニ於ケル地位並ニ之ニ對處シテ確立サレタル國策ニ對シ絕對的信賴ト之ガ協力ハ聖戰遂行上不可缺ノ要件ニシテ殊ニ朝鮮ノ現狀ニ鑑ミ時局ノ認識並ニ之ニ對スル自覺ノ喚起ハ喫緊ノ要事ナルヲ以テ之ガ方策トシテ講演會、講習會、座談會等ノ開催、ラデオ放送、展覽會、映畫、紙芝居、新聞、雜誌等凡有宣傳啓發ノ施設ト機會トヲ通シテ之ガ徹底ニ萬全ヲ期シツ、アリ。

(5) 農山村生産報國運動

從來農山漁村ニ對シテハ農山漁村振興運動ニ依ル勤勞増進、諸般ノ改良等増産及生活ノ刷新ニ付戸別指導ヲ目標トシ相當ノ成績ヲ舉グツ、アリシモ昭和十五年十月以降國民總力運動ノ一部門トシテ部落單位ノ生産擴充ニ重點ヲ置キ、有畜農業ノ普及、自給肥料ノ増産、未墾地開發、全家勤勞等ニ依リ食糧ノ増産確保、特用作物ノ増産等計畫生産ノ必行ヲ期セシメツ、アリタルガ更ニ昭和十七年十一月二十三日新嘗祭ヲ期シ全鮮ニ之ガ強化運動ヲ展開シツ、アリ。

(6) 徵兵制度ノ趣旨普及

昭和十七年五月徵兵制實施ノ決定ヲ見ルニ至リ之ニ對處スル爲兵役ノ本質ハ國體ニ甚ク崇高ナル皇

國臣民ノ義務ナルト共ニ亦無上ノ榮譽トスル所以ヲ明カニシ併セテ本制度ガ半島ニ實施セラル、コト、ナリタル趣旨ヲ正解徹底セシムルト共ニ之ガ實施ニ對應スル諸準備ニ萬遺憾ナカラシムルヲ期シツ、アリ。

九〇

(7) 國語普及運動

朝鮮民衆ヲシテ内鮮一體ノ眞意ニ徹セシメ牢固ナル皇國臣民トシテノ信念ヲ確立シ一切ノ生活ニ國民意識ヲ顯現セシムル爲ニハ彼等ヲシテ悉ク國語ヲ解セシメ且日常生活ニ於テ之ヲ常用セシムルハ絶體ノ要件ナルヲ以テ昭和十七年五月本運動要綱ヲ決定シ活潑ナル運動ヲ展開シタルトコロ今ヤ全鮮ニ國語普及ノ氣運澎湃トシテ舉リ相當ノ成績ヲ見ツ、アルモ今後益々本運動ノ強化徹底ヲ圖リ之ガ實績擧揚ヲ期シツ、アリ。

(8) 婦人啓發運動

戰時下婦人ノ自覺活動ニ對スル國家ノ要請ハ今日程大ナルハナク殊ニ朝鮮婦人層ノ現狀ヨリ見テ之ガ啓發ハ最緊急事ナルニ鑑ミ昭和十七年二月運動要綱ヲ設定シ大日本婦人會ノ活動ト相俟ツテ皇國傳統ノ婦道擧揚ヲ目標ニ全鮮ニ亘リ活潑ナル運動ヲ展開シツ、アリ。

(9) 指導者ノ鍊成

國民總力運動ノ成否ハ一ニ第一線指導者ノ素質ト熱意トニ繫レルニ鑑ミ運動機構ノ中央、地方ヲ通シ指導者ノ鍊成ニ力ヲ致シ道場、訓練所等施設ノ擴充ヲ講ズルト共ニ之ガ第一線指導者ノ鍊成ニ努メツ、アリ。

(10) 物資ノ供出配給ヘノ協力

物資就中米穀、軍需品等ノ供出ハ現下朝鮮ニ負荷セラレタル重大使命ノ一ニシテ總督府ノ方針ニ即應シ總力運動トシテ充分ナル協力を爲スト共ニ生活必需品ノ配給ニ付テモ愛國班ノ活動ニ俟ツモノノ極メテ多ク之ガ圓滑ナル運営ヲ期シツ、アリ。

(11) 道義心ノ昂揚

大戰下國民ノ生活環境ヲ明朗化シ敵和輯睦以テ夫々ノ職域ニ勵精スルハ銃後體制強化上最モ喫緊事タルニ鑑ミ昭和十七年八月、昭和十八年二月二回ニ亘リ親切運動ヲ、昭和十八年三月清掃運動ヲ實施スル等隨時此ノ種ノ運動ヲ展開シ銃後國民ノ明朗化ヲ策シ道義心ノ昂揚ヲ圖リ銃後體制ノ強化ニ努メツ、アリ。

九一

國民總力運動資料

REEL No. A-0509

0426

アジア歴史資料センター

一、國民總力運動連絡委員會規程

第一條 國民總力運動ノ圓滑ナル運営ヲ期スル爲朝鮮總督府ニ國民總力運動連絡委員會ヲ置ク

第二條 委員會ハ委員長一人及委員若干人ヲ以テ之ヲ組織ス

必要アルトキハ臨時委員ヲ置クコトヲ得

第三條 委員長ハ朝鮮總督府政務總監ヲ以テ之ニ充ツ

委員及臨時委員ハ朝鮮總督府内高等官及學識經驗アル者ノ中ヨリ朝鮮總督之ヲ命ジ又ハ囑託ス

第四條 委員長ハ會務ヲ總理ス

委員長事故アルトキハ委員長ノ指命シタル委員共ノ事務ヲ代理ス

第五條 委員長必要アリト認ムルトキハ朝鮮總督府内高等官其ノ他適當ト認ムル者ヲシテ會議ニ出席シ意見ヲ陳述セシムルコトヲ得

第六條 委員會ニ幹事ヲ置ク朝鮮總督府内高等官ノ中ヨリ朝鮮總督之ヲ命ズ

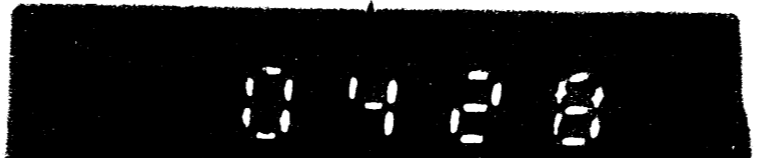
幹事ハ委員長ノ指揮ヲ受ケ庶務ヲ整理ス

第七條 委員會ニ書記ヲ置ク朝鮮總督府内判任官ノ中ヨリ朝鮮總督之ヲ命ズ

書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

普通(土)官、群職、本、庶務ニ掛連シ
 第廿四號 委員、國民總力運動連絡委員會委員及幹事名簿

委員	朝鮮總督府政務總監	田中	武
委員	朝鮮總督府總務局長	江口	親
委員	朝鮮總督府總務局長	新貝	直
委員	司政局長	水田	瀧
委員	財務局長	上田	正
委員	殖産局長	鹽田	福
委員	農林局長	早田	謙
委員	法務局長	大野	一
委員	學務局長	丹下	郁
委員	警務局長	石田	千
委員	逓信局長	山田	新
委員	鐵道局長	伊藤	藤
委員	專賣局長	伊藤	泰
委員	殖産局勅任事務官	信原	聖
朝鮮總督府總務局監察課長	美根	五郎	
同 企画室長	兵頭	長	
同 官房會計課長	森井	竹	
同 人事課長	筒井	島	
同 總務局文書課長	倉原	潤	
陸軍少將	井原	次	
海軍大佐	松本	一	
國民總力朝鮮聯盟事務局總長	波田	重	
同 總務部長	簡牛	凡	
同 鍊成部長	大田	中	
同 經濟部長	孫家	永	
同 厚生部長	孫中	剛	
同 宣傳部長	津田	敏	
朝鮮總督府國民總力課長	堂本	好	
同 國民總力課事務官	澤口	正	
朝鮮總督府國民總力課 屬	水田	義	



一、國民總力聯盟中央組織

1. 國民總力朝鮮聯盟規約

第一條 本聯盟ハ國民總力朝鮮聯盟ト稱ス

第二條 本聯盟ハ國體ノ本義ニ基キ内鮮一體ノ實ヲ舉グ各々其ノ職域ニ於テ奉公ノ誠ヲ捧グ其ノ總力ヲ結集シテ皇運ヲ扶翼シ奉ルヲ以テ目的トス

第三條 本聯盟ハ朝鮮ニ於ケル全國民及參加國體ヲ以テ組織ス

第四條 本聯盟ニ左ノ役員ヲ置ク

總裁

副總裁

顧問

參與

理事

評議員

參事

一名

若干名

若干名

若干名

若干名

若干名

内若干名ヲ專務理事トシテ若干名ヲ常務理事トス

第五條 總裁ニハ朝鮮總督ヲ推戴ス

總裁ハ本聯盟ヲ總理ス

第六條 副總裁ニハ朝鮮總督府政務總監ヲ推戴ス

副總裁ハ總裁ヲ輔佐シ總裁事故アルトキハ之ヲ代理ス

第七條 顧問以下ノ役員ハ學識經驗アル者ノ中ヨリ總裁之ヲ委屬ス

理事、評議員、參事ノ任期ハ一年トシ但シ官公吏タル者及專務役員ハ此ノ限リニ非ズ

任期中途ニ於テ前項ノ役員ニ委屬セラレタル者ノ任期ハ委屬ノ際之ヲ指定ス

第八條 顧問及參與ハ總裁ノ諮問ニ應ジ重要事項ニ付意見ヲ述ブ

第九條 理事ハ總裁ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌理シ隨時意見ヲ述ブ

理事ハ理事會ヲ組織シ本聯盟ノ重要事項ヲ審議ス

第十條 評議員ハ評議員會ヲ組織シ總裁ノ諮問ニ應ジ且隨時意見ヲ述ブ

第十一條 參事ハ理事ヲ輔佐シ事務ノ執行ニ參畫ス

第十二條 理事會及評議員會ハ總裁之ヲ招集ス

第十三條 役員ニハ手當ヲ支給スルコトヲ得

第十四條 本聯盟ノ事務ヲ處理スル爲メ京城府内ニ事務局ヲ置ク

第十五條 事務局ニ事務局總長ヲ置キ理事ノ中ヨリ總裁之ヲ命ズ

事務局ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第十六條 道府郡島邑面、町洞里部落ニ夫々聯盟ヲ、町洞里部落聯盟ニ若干ノ愛國班ヲ置キ各々共ノ

直上ノ聯盟ニ隸屬セシム

道以下ノ聯盟及愛國班ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第十七條 參加團體ハ各々國民總力何々（團體名）聯盟ト稱シ其ノ業務區域ニ道ニ互ルモノハ朝鮮聯

盟ニ、道内ニ府郡島以上ニ互ルモノハ其ノ道聯盟ニ、郡島内ニ邑面以上ニ互ルモノハ其ノ郡島聯盟

ニ、府邑面内ニ町洞里以上ニ互ルモノハ其ノ府邑面聯盟ニ、町洞里内ニ部落以上ニ互ルモノハ其ノ

町洞里聯盟ニ隸屬ス

前項ノ聯盟ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第十八條 本聯盟ノ經費ハ國庫補助金其ノ他ノ收入ヲ以テ之ニ充ツ

2. 國民總力朝鮮聯盟事務局職制

第一條 事務局總長ハ總裁及副總裁ノ監督ノ下ニ事務局ノ事務ヲ統理ス

事務局總長事故アルトキハ總務部長共ノ職務ヲ代理ス

第二條 事務局ニ左ノ五部ヲ置ク

總務部

鍊成部

經濟部

厚生部

宣傳部

第三條 部ニ部長ヲ置キ理事ノ中ヨリ總裁之ヲ命ズ

部長ハ部務ヲ掌理シ部下ノ職員ヲ指揮監督ス

第四條 部ニ課ヲ置キ部務ヲ分掌セシム

課長ハ參事ノ中ヨリ總裁之ヲ命ズ

課長ハ上職ノ命ヲ承ケ課務ヲ掌ル

第五條 事務局ニ主事、書記、技手、囑託及雇員ヲ置キ事務局總長之ヲ命免ス

主事、書記、技手、囑託及雇員ハ上職ノ命ヲ承ケ事務又ハ技術ニ従事ス

第六條 總務部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 庶務、文書、人事及會計經理ニ關スル事項

二 諸會議ニ關スル事項

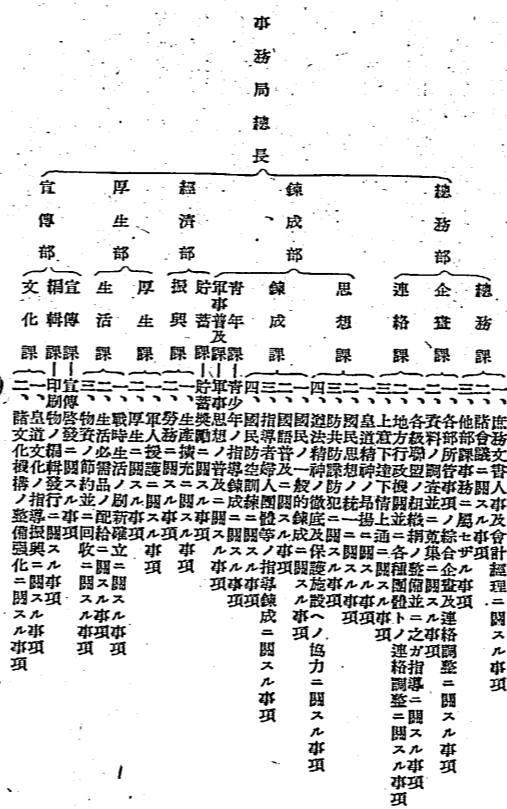
- 三 各部所管事項ノ綜合企畫及連絡調整ニ關スル事項
 - 四 資料ノ調査並ニ蒐集ニ關スル事項
 - 五 各級聯盟ノ組織網ノ整備並ニ之ガ指導ニ關スル事項
 - 六 地方行政機關並ニ各種團體トノ連絡調整ニ關スル事項
 - 七 上意下達、下情上通ニ關スル事項
 - 八 他ノ部ニ屬セザル事項
- 第七條 鍊成部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一 皇道精神ノ昂揚ニ關スル事項
 - 二 國民思想ノ統一ニ關スル事項
 - 三 防共防諜防犯ニ關スル事項
 - 四 遵法精神ノ徹底及保護施設ヘノ協力ニ關スル事項
 - 五 國民ノ一般の鍊成ニ關スル事項
 - 六 國語普及ニ關スル事項
 - 七 指導者婦人團體等ノ指導鍊成ニ關スル事項
 - 八 國民防空訓練ニ關スル事項

- 九 青少年ノ指導鍊成ニ關スル事項
 - 十 軍事思想ノ普及ニ關スル事項
- 第八條 經濟部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一 貯蓄獎勵ニ關スル事項
 - 二 生産擴充ニ關スル事項
 - 三 勞務ニ關スル事項
- 第九條 厚生部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一 軍人援護ニ關スル事項
 - 二 厚生ニ關スル事項
 - 三 戰時生活ノ刷新確立ニ關スル事項
 - 四 生活必需品ノ配給ニ關スル事項
 - 五 物資ノ節約並ニ回收ニ關スル事項
- 第十條 宣傳部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一 宣傳啓發ニ關スル事項
 - 二 印刷物ノ編輯發行ニ關スル事項



三 皇道文化ノ指導振興ニ關スル事項
四 諸文化機構ノ整備強化ニ關スル事項

事務局事務分掌

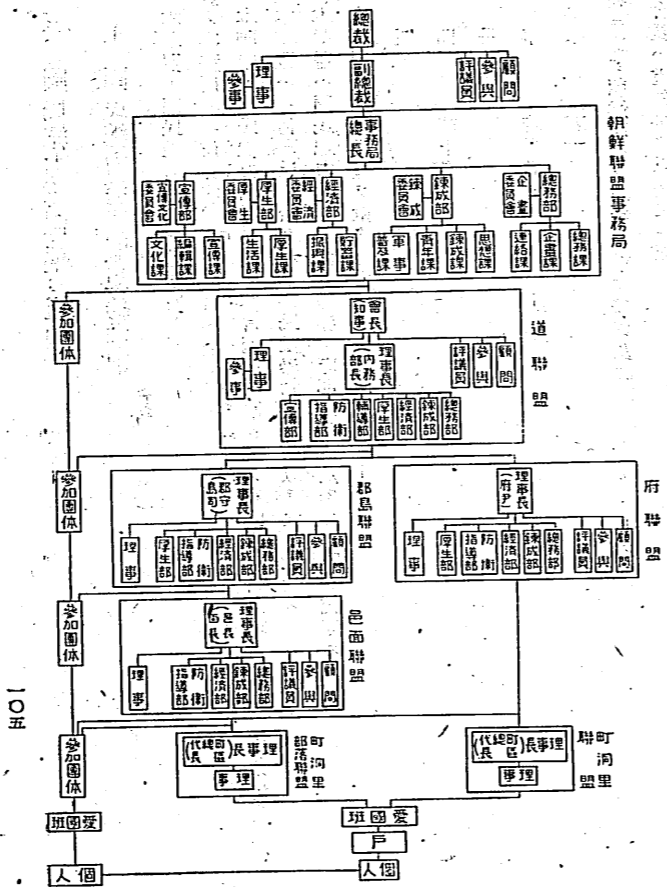


3. 國民總力朝鮮聯盟事務局各部委員會規程

第一條 國民總力朝鮮聯盟事務局各部ノ事業推進ニ寄與スル事項ノ調査審議ヲナス爲國民總力朝鮮聯盟事務局各部ニ左記委員會ヲ置ク

- 總務部 企畫委員會
 - 鍊成部 鍊成委員會
 - 經濟部 經濟委員會
 - 厚生部 厚生委員會
 - 宣傳部 宣傳文化委員會
- 第二條 委員會ハ委員長及委員若干人ヲ以テ之ヲ組織ス
必要アル時ハ臨時委員ヲ置キ又ハ委員中若干人ヲ以テ小委員會ヲ設クルコトヲ得
- 第三條 委員長ハ當該部ノ部長ヲ以テ之ニ充ツ
委員及臨時委員ハ朝鮮聯盟役、職員其ノ他ノ學識經驗アル者ノ中ヨリ國民總力朝鮮聯盟事務局總長之ヲ命ジ又ハ囑託ス
- 第四條 委員長ハ會務ヲ總理ス

4. 國民總力朝鮮聯盟組織圖



委員長事故アル時ハ委員長ノ指名シタル委員其ノ事務ヲ代理ス
 會議ノ統裁ハ企畫委員會ニアリテハ總長、總長事故アル時ハ總務部長又ハ必要ニ應ジ總務部長ノ指名シタル委員之ニ當リ他ノ部ノ委員會ニアリテハ當該部長又ハ必要ニ應ジ當該部長ノ指名シタル委員之ニ當ル

第五條 委員長必要アリト認ムル時ハ委員以外ノ國民總力朝鮮聯盟役員中適當ト認ムル者ヲシテ會議ニ出席シ意見ヲ陳述セシムルコトヲ得

第六條 顧問、參與、常務理事ハ適宜會議ニ出席シ意見ヲ述ブルコトヲ得

第七條 委員會ニ幹事及書記ヲ置ク、幹事及書記ハ事務局當該部員中ヨリ當該委員長之ヲ命ズ

第八條 幹事ハ委員長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理シ書記ハ委員長ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

三、國民總力聯盟地方組織

1. 國民總力道聯盟規約準則

第一條 本聯盟ハ國民總力「何」道聯盟ト稱ス

本聯盟ノ事務所ハ「何（府、邑）」内ニ之ヲ置ク

第二條 本聯盟ハ國民總力朝鮮聯盟ノ趣旨綱領ヲ體シ其ノ實踐事項ノ具現ニ邁進スルヲ以テ目的トス

第三條 本聯盟ハ「何」道ニ於ケル全國民及參加團體ヲ以テ之ヲ組織ス

第四條 本聯盟ハ國民總力朝鮮聯盟ニ隸屬シ府郡島聯盟及參加團體ヲ統轄ス

第五條 本聯盟ニ左ノ役員ヲ置ク

會長

顧問 若干名

理事長

理事 若干名

參事 若干名

第六條 會長ハ道知事ヲ以テ之ニ充ツ
（必要ニ應ジ朝鮮聯盟ノ組織ニ準ジ參與及評議員ヲ置クコトヲ得）

會長ハ本聯盟ヲ統理ス

第七條 顧問ハ會長之ヲ委嘱ス

顧問ハ會長ノ諮問ニ應ジ又ハ重要事項ニ付意見ヲ述ブ

第八條 理事長ハ道內務部長ヲ以テ之ニ充ツ

理事長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ之ヲ代理ス

第九條 理事ハ道警察部長、道産業部長國民總力課長及學識經驗アル者ノ中ヨリ會長ノ委嘱シタル者ヲ以テ之ニ充ツ

理事ハ理事會ヲ組織シ本聯盟ノ重要事項ヲ審議ス

理事ハ必要ニ應ジ隨時意見ヲ述ブルコトヲ得

第十條 理事會、評議員會（設置セル場合ニ限ル）ハ會長之ヲ召集ス

第十一條 參事ハ會長之ヲ委嘱ス

參事ハ理事ヲ補佐シ事務ノ執行ニ參畫ス

第十二條 本聯盟ニ常會ヲ置ク

常會ハ會長ノ召集ニ依リ役員集會ス

第十三條 本聯盟ニ總務、鍊成、經濟、厚生、輔導、防衛指導及宣傳ノ各部ヲ置ク

第十四條 各部ニ部長ヲ置キ理事長及理事ノ中ヨリ會長之ヲ命ズ

部長ハ會長ノ命ヲ承ケ部務ヲ掌理シ部下職員ヲ指揮監督ス

第十五條 總務部ハ庶務、人事、會計、聯盟組織網ノ整備並ニ之ガ指導、地方行政機關並ニ參加團體

下ノ連絡調整、事業成果ノ監査、上意下達下情上通及他ノ部ニ屬セザル事項ヲ掌ル

第十六條 鍊成部ハ聯盟員ノ鍊成及軍事思想ノ普及ニ關スル事項ヲ掌ル

第十七條 經濟部ハ貯蓄獎勵、生産力擴充及勞務ニ關スル事項ヲ掌ル

第十八條 厚生部ハ軍人援護、戰時生活及厚生ニ關スル事項ヲ掌ル

第十九條 輔導部ハ保護施設ヘノ協力及遵法精神ノ徹底ニ關スル事項ヲ掌ル

第二十條 防衛指導部ハ防共、防犯、防護、災害防止、衛生其他國民防衛ノ指導ニ關スル事項ヲ掌ル

第二十一條 宣傳部ハ國民總力運動ノ趣旨ノ宣傳並ニ黨道文化ノ指導振興、諸文化施設ノ整備強化ニ

關スル事項ヲ掌ル

第二十二條 本聯盟ニ必要アルトキハ有給ノ職員ヲ置クコトヲ得

前項ノ職員ハ會長之ヲ任免ス

2. 國民總力「何(府、郡、島、邑、面)」聯盟規約準則

第一條 本聯盟ハ國民總力「何」聯盟ト稱ス

本聯盟ノ事務所ハ「何(府、邑、面)」内ニ之ヲ置ク

第二條 本聯盟ハ國民總力朝鮮聯盟ノ趣旨綱領ヲ體シ其ノ實踐事項ノ具現ニ邁進スルヲ以テ目的トス

第三條 本聯盟ハ「何(府、郡、島、邑、面)」ニ於ケル全國民及參加團體ヲ以テ組織ス

本聯盟ハ國民總力「何」道(邑、面)聯盟ニ於テハ「何」郡、島)聯盟ニ隸屬シ町洞里部落聯盟及參

加團體ヲ統轄ス

第四條 本聯盟ニ左ノ役員ヲ置ク

理事 長

顧問 若干名

理事 若干名

(必要ニ應ジ朝鮮聯盟ノ組織ニ準ジ參與及評議員ヲ置クコトヲ得)

第五條 理事長ハ「何(府尹、郡守、島司、邑長、面長)」ヲ以テ之ニ充ツ

理事長ハ本聯盟ヲ代表シ聯盟ノ事務ヲ統理ス

理事長事故アルトキハ理事長ノ指名シタル理事之ヲ代理ス

第六條 理事ハ「何」府、郡、島聯盟ハ府、郡、島ノ課長、邑、面聯盟ハ邑、面長以外ノ邑、面事務所ノ幹部）及學識經驗アル者ノ中ヨリ理事長ノ委嘱シタル者ヲ以テ之ニ充ツ

理事ハ理事會ヲ組織シ本聯盟ノ實踐事項ヲ審議シ之ヲ處理ス

第七條 理事會、評議員會（設置セル場合ニ限ル）ハ理事長之ヲ招集ス

第八條 本聯盟ニ常會ヲ置ク

常會ハ理事長ノ招集ニ依リ役員集會ス

第九條 本聯盟ニ部ヲ置クコトヲ得

第十條 部ニ部長ヲ置キ理事ノ中ヨリ理事長之ヲ命ズ

部長ハ理事長ノ命ヲ承ケ部務ヲ掌理ス

第十一條 本聯盟ニ必要アルトキハ有給ノ職員ヲ置クコトヲ得

前項ノ職員ハ理事長之ヲ任免ス

3. 國民總力「何」町聯盟規約準則

第一條 本聯盟ハ國民總力「何」町聯盟ト稱ス

本聯盟ノ事務所ハ「何」内ニ之ヲ置ク

第二條 本聯盟ハ國民總力朝鮮聯盟ノ趣旨綱領ヲ體シ其ノ實踐事項ノ具現ニ邁進スルヲ以テ目的トス

第三條 本聯盟ハ「何」町ニ於ケル全國民及參加團體ヲ以テ組織ス

本聯盟ハ國民總力「何」（府、邑、面）聯盟ニ隸屬シ愛國班及參加團體ヲ統轄ス

第四條 本聯盟ニ理事長ヲ置ク

理事長ハ町總代ヲ以テ之ニ充ツ

理事長ハ本聯盟ヲ代表シ聯盟ノ事務ヲ統理ス

本聯盟ニ必要アルトキハ理事ヲ置クコトヲ得

理事ハ理事長之ヲ委嘱ス

理事ハ理事長ヲ補佐シ事務ノ執行ニ參畫ス

理事長事故アルトキハ理事長ノ指名シタル理事（又ハ班長）之ヲ代理ス

第五條 本聯盟ニ常會ヲ置ク

常會ハ理事長ノ招集ニ依リ全戸（團體ニ在リテハ代表者）集會ス但シ必要ニ依リ愛國班長ノ集會ヲ

以テ常會ニ代フルコトヲ得

常會ハ毎月、日（及、日）之ヲ開催ス

第六條 本聯盟ハ凡ソ十戸ヲ以テ一愛國班ヲ組織ス
第七條 愛國班ニハ班長ヲ置キ理事長之ヲ指名ス
班長ハ班員ヲ統率ス
班長事故アルトキハ班長ノ指名シタル班員之ヲ代理ス
第八條 愛國班ニ常會ヲ置ク

4. 國民總力「何」洞里聯盟規約準則

第一條 本聯盟ハ國民總力「何」洞里聯盟ト稱ス
第二條 本聯盟ハ國民總力朝鮮聯盟ノ趣旨綱領ヲ體シ其ノ實踐事項ノ具現ニ邁進スルヲ以テ目的トス
第三條 本聯盟ハ「何」洞里ニ於ケル全國民及參加團體ヲ以テ組織ス
本聯盟ハ國民總力「何」(邑、面)聯盟ニ隸屬シ愛國班及參加團體ヲ統轄ス
第四條 本聯盟ニ理事長ヲ置ク
理事長ハ區長ヲ以テ之ニ充ツ
理事長ハ本聯盟ヲ代表シ聯盟ノ事務ヲ統理ス
本聯盟ニ必要アルトキハ理事ヲ置クコトヲ得

5. 國民總力「何」部落聯盟規約準則

第一條 本聯盟ハ國民總力「何」部落聯盟ト稱ス
第二條 本聯盟ハ國民總力朝鮮聯盟ノ趣旨綱領ヲ體シ其ノ實踐事項ノ具現ニ邁進スルヲ以テ目的トス
第三條 本聯盟ハ「何」部落ニ於ケル全國民及參加團體ヲ以テ組織ス
本聯盟ハ國民總力「何」(邑、面)聯盟ニ隸屬シ愛國班及參加團體ヲ統轄ス
第四條 本聯盟ニ理事長ヲ置ク
理事長ハ區長ヲ以テ之ニ充ツ
(理事長ハ邑面聯盟ノ理事長之ヲ選任ス)
理事長ハ本聯盟ヲ代表シ聯盟ノ事務ヲ統理ス
本聯盟ニ必要アルトキハ理事ヲ置クコトヲ得
理事ハ理事長之ヲ委嘱ス
理事ハ理事長ヲ補佐シ事務ノ執行ニ參畫ス

理事長事故アルトキハ理事長ノ指名シタル理事(又ハ班長)之ヲ代理ス

第五條 本聯盟ニ常會ヲ置ク

常會ハ理事長ノ招集ニ依リ全戸(團體ニ在リテハ代表者)集會ス

常會ハ毎月 日(及 日)之ヲ開催ス

第六條 本聯盟ハ凡ソ十戸ヲ以テ一愛國班ヲ組織ス

第七條 愛國班ニハ班長ヲ置キ理事長之ヲ指名ス

班長ハ班員ヲ統率ス

班長事故アルトキハ班員之ヲ代理ス

第八條 愛國班ニ常會ヲ置ク

6. 國民總力各種聯盟規約準則

第一條 本聯盟ハ國民總力「何(官公署 學校 會社 銀行 工場 鑛山 大商店等)」聯盟ト稱ス

本聯盟ノ事務所ハ「何」内ニ之ヲ置ク

第二條 本聯盟ハ國民總力朝鮮聯盟ノ趣旨綱領ヲ體シ實踐事項ヲ共ノ職域ニ於テ具現スルヲ以テ目的トス

第三條 本聯盟ハ「何(官公署 學校 會社 銀行 工場 鑛山 大商店)」ニ於ケル全員ヲ以テ組織ス

本聯盟ハ國民總力「何(朝鮮 道 府 郡 島 邑 面 町 洞 里 部落)」聯盟ニ隸屬シ愛國班ヲ

統轄ス

第四條 本聯盟ニ左ノ役員ヲ置ク

理事長

理事

理事 若干名(情況ニ依リ省略スルコトヲ得)

(必要ニ應ジ朝鮮聯盟ノ組織ニ準ジ顧問及評議員ヲ置クコトヲ得)

第五條 理事長ハ「何(長又ハ幹部中ノ適任者)」ヲ以テ之ニ充ツ

理事長ハ本聯盟ヲ代表シ聯盟ノ事務ヲ統理ス

理事長事故アルトキハ理事長ノ指名シタル理事之ヲ代理ス

第六條 理事ハ「何(適當ト認ムル幹部)」ヲ以テ之ニ充ツ

理事ハ理事會ヲ組織シ本聯盟ノ實踐事項ヲ審議シ之ヲ處理ス

第七條 理事會 評議員會(設置セル場合ニ限ル)ハ理事長之ヲ招集ス

第八條 本聯盟ニ常會ヲ置ク

第九條 本聯盟ハ適當ナル人員ヲ以テ愛國班ヲ組織ス



第十條 愛國班ニハ班長ヲ置キ理事長之ヲ指名ス
班長ハ班員ヲ統率ス
班長事故アルトキハ班長ノ指名シタル班員之ヲ代理ス

四、國民總力地方聯盟結成狀況調査表 (昭和十七年四月一日現在)

道名	道長	府郡長	邑面長	町長	郡長	同上愛國班		各種聯盟	同上愛國班	
						班員數	班員代表數		班員數	班員代表數
京畿道	1	1	10	10	10	10	10	10	10	10
忠清南道	1	1	10	10	10	10	10	10	10	10
忠清北道	1	1	10	10	10	10	10	10	10	10
全羅南道	1	1	10	10	10	10	10	10	10	10
全羅北道	1	1	10	10	10	10	10	10	10	10
慶尙南道	1	1	10	10	10	10	10	10	10	10
慶尙北道	1	1	10	10	10	10	10	10	10	10
黃海道	1	1	10	10	10	10	10	10	10	10
平安南道	1	1	10	10	10	10	10	10	10	10
平安北道	1	1	10	10	10	10	10	10	10	10
江原道	1	1	10	10	10	10	10	10	10	10
咸鏡南道	1	1	10	10	10	10	10	10	10	10
咸鏡北道	1	1	10	10	10	10	10	10	10	10
合計	12	12	120	120	120	120	120	120	120	120

五、國民總力運動強化方策 (抜萃)

- 國民總力運動本來ノ目的ヲ完全且積極的ニ遂行スル爲之ガ事務連絡ニ關シ遺憾ナカラント期シ左ノ如ク決定實行スルモノトス
- 朝鮮聯盟ノ運動ハ總督府行政施策ト常ニ表裏一體ノ關係ヲ保ツコト
 - 朝鮮聯盟ノ運動ニ對シテハ其ノ主管事項ニ付總督府關係局長ニ於テ之ガ円滑適正ナル運行ヲ期スル爲密接ナル協力指導ニ當ルコト
 - 總督府各局ニ於テ國民運動ノ展開ヲ必要ト認ムル事項ニ付テハ總務局ヲ通シ可及的ニ朝鮮聯盟ヲシテ實行セシムルヤウ努ムルコト
 - 總督府各局ニ在リテハ國民運動ニ關係アリト認メラルル行政施策ハ總テ總務局へ通報スルコト
 - 朝鮮聯盟ニ於テ重要ナル運動ヲ展開セントスルトキハ豫メ總務局ニ連絡スルコト
 - 國民總力運動連絡委員會ハ國民運動進展ニ關スル重要事項ノ審議策定並ニ連絡ヲ圖ル最高機關ト

シテ國民總力運動ニ關聯ヲ有スル重要ナル事項又ハ其ノ他必要ト認メラルル事項ハ必ズ本委員會ニ附議或ハ報告スルモノトス

七、朝鮮聯盟各部ニ附置スベキ委員會等ノ組織並運営ニ付テハ總督府關係局長ハ其ノ所管事項ニ應ジ之ガ協力指導ニ當ルコト

八、總督府各局又ハ朝鮮聯盟主催ノ各種會議ニハ可及的相互ニ關係者ノ臨席ヲ求ムルコトトシ總務局ヲ通ジ之ガ連絡ヲトルコト

九、國民運動ヲ目的トスル團體ハ之ガ統制上可成新設セザル方針ヲ採リ亦既設團體中朝鮮聯盟ニ吸收可能ナルモノハ之ヲ吸收シ、其ノ他ノ團體ニ付テハ朝鮮聯盟ノ指導方針ヲ體シテ行動スベキモノトシ各團體相互ニ密接ナル聯繫ヲ保持シ得ルヤツ措置スルコト

一〇、總督府總務局ニ於テハ朝鮮聯盟又ハ總督府各局ヨリ連絡、合議等アリタル事件其ノ他必要ト認ムル事件ニ付テハ總督府各局又ハ朝鮮聯盟ニ適宜措置スルモノトス

六、其他

1. 大詔奉戴日實施要綱

(昭和十七年一月四日國民總力運動指導委員會決定)

一、趣 旨

皇國ノ隆替ト東亞ノ興廢ヲ決スベキ大東亞戰爭ノ展開ニ伴ヒ劃期的一大國民運動ヲ要請セラルルノ

秋内鮮相呼應シ半島ニ於テモ大詔奉戴日ヲ設定シ益々必勝ノ意氣ヲ昂揚シ愈々内鮮一體ノ實ヲ擧ゲ健全明朗ナル實踐ニ依リ大東亞戰爭ノ完遂ニ邁進シ以テ 聖旨ニ應ヘ奉ランコトヲ期ス

二、名 稱

大詔奉戴日

三、日

毎月八日

四、實施項目

- イ、詔書奉讀
官公衙、學校、會社、工場等ニ於テハ詔書奉讀式ヲ行フコト
- ロ、必勝祈念
神社、神祠、寺院、教會等ニ於テハ必勝祈願ノ行事ヲ行フコト
- ハ、國旗掲揚
- ニ、職域奉公
各自一段ト職域奉公ニ挺身精勵スルコト
- ホ、常會開催

從來ノ愛國日常會ヲ大詔奉戴日常會トシテ實施スルコト
ヘ、其ノ他ノ實施項目

其ノ他ノ實施項目ハ國民總力朝鮮聯盟ニ於テ隨時決定スルコト
五、實施期間

昭和十七年一月ヨリ大東亞戰爭完遂迄實施ス
備考

大詔奉戴日休日ニ際會セル場合ハ官公衙、學校、會社、工場等ニ於テハ翌日詔書奉讀式ヲ行フコト

2. 婦人啓發運動要綱

(昭和十七年二月十七日國民總力運動指導委員會決定)

一、趣 旨

本運動ハ朝鮮ニ於ケル婦人ノ自覺ヲ促シ、婦徳ノ涵養ニ力メ、將來ヲ荷フ國民ノ母トシテ子女ノ育成ニ全魂ヲ捧グ、又大イニ生活ヲ刷新シ、特ニ農村ニ於テハ勤勞ノ倍加ニ勵ミ以テ、大戰爭下ノ婦人ニ課セラレタ重キ務メヲ盡サシメルニアル。

二、運動目標

- 第一、婦徳ノ涵養
- 第二、子女ノ育成
- 第三、生活ノ刷新

三、實踐事項

第一、婦徳ノ涵養

- イ、國體ノ尊キニ感銘スルコト
 - ロ、神明ヲ敬フコト
 - ハ、内鮮一體ニ徹スルコト
 - ニ、「何事モ大君ノミ爲ニ、御國ノ爲ニ」ト云フ心ヲ養フコト
 - ホ、ヨク親ニ仕ヘ又妻タルノ分ヲ盡スコト
 - ヘ、女ヲシサト凛々シサヲ養フコト
 - ト、禮儀ヲ正シタスルコト
 - チ、知識ノ向上ニ力メタルコト
- 第二、子女ノ育成
- イ、子女ヲ大御寶トシテ育テタルコト

- ロ、子女ヲ正シク強ク慈シミ育てルコト
- ハ、子女ノ手本ニナルコト
- ニ、子女ノ躰ヲヨクスルコト
- ホ、學校ト充分聯絡スルコト

第三、生活ノ刷新

- イ、時局ノ認識ニ努メルコト
- ロ、經濟知識ヲ養フコト
- ハ、衣食住ノ改善ヲ圖ルコト
- ニ、物資ヲ愛護活用スルコト
- ホ、貯蓄ヲ勵行スルコト
- ヘ、全家勤勞ニ勵ムコト
- ト、家庭團樂ノ中心トナルコト
- チ、國語ヲ常用スルコト
- リ、陋習ヲ打破スルコト
- ス、家庭衛生ニ注意スルコト

ル、國防訓練ニ努メルコト
ヲ、軍事援護ニカメルコト

3. 國語普及運動要綱

(昭和十七年五月六日國民總力運動指導委員會決定)

一、趣 旨

本運動ハ半島民衆ヲシテ確固タル皇國臣民タル信念ヲ堅持シ一切ノ生活ニ國民意識ヲ顯現セシムル爲悉ク國語ヲ解セシメ且日常用語トシテ之ヲ常用セシムルニアル。

二、運動要目

(一) 國語常用ニ對スル精神的指導

- 1. 皇國臣民トシテ國語ヲ話シ得ル誇ヲ感得セシムルコト
- 2. 日本精神ノ體得上國語常用ガ絶體必要ナル所以ヲ理解セシムルコト
- 3. 大東亞共榮圈ノ中核タル皇國臣民トシテ國語ノ習得、常用ガ必須ノ資格要件タルコトヲ自覺セシムルコト

(二) 國語ヲ解スル者ニ對スル方策

- 1. 官公署職員ハ率先國語常用ヲ勵行スルコト

2. 學生、生徒、兒童ハ必ず常用スルコト
3. 會社、工場、鑛山等ニ於テモ極力常用ヲ獎勵スルコト
4. 青年團、婦人會、教會共ノ他集會ニ於テモ國語使用ニ努ムルコト
5. 苟シクモ國語ヲ解スル者ハ必ず國語ヲ使用スルハ勿論凡有機會ニ國語ヲ解セザル者ニ對スル教導ニ努ムルコト

一一四

(四) 國語ヲ解セザル者ニ對スル方策

1. 國民學校附設國語講習所ノ開設
2. 各種講習會ノ開催
3. 國語教本ノ配付
4. ラジオニヨル講習
5. 雜誌ニヨル講習
6. 平易ナル新聞ノ發行
7. 常會ニ於ケル指導
8. 兒童生徒ニヨル一日一語運動
9. 各所在ニ於ケル國語ヲ解セル者ヨリノ指導

(四) 文化方面ニ對スル方策

1. 文化、映畫、演劇、音樂方面ニ對シテ極力國語使用ヲ勸奨スルコト
2. ラジオ第二放送ニ國語ヲヨリ多ク取入レルコト
3. 謠文新聞、雜誌ニ國語欄ヲ設クルコト

(四) 國語常用者ニ對スル表彰及優先的處遇

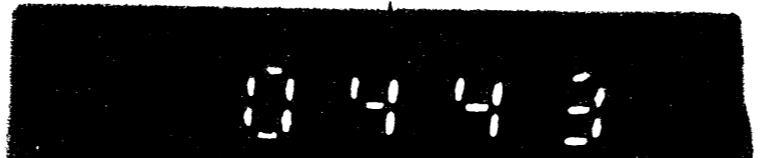
1. 「國語常用ノ家」等國語常用者又ハ國語普及ニ功有ル者等ヲ表彰スルコト
 2. 公職共ノ他ノ就職及其ノ待遇等ノ各般ノ所遇ニ付優先的ニ考慮スルコト
- (六) 此際官民協力シ全鮮の本運動展開ニ付テノ明朗且熱意アル氣運ヲ醸成スルニ努ムルコト
- (七) 國語普及年次計畫ヲ樹立スルコト

4. 農業報國運動實施要綱 (昭和十七年十一月七日政務總監通牒)

趣 旨

皇國ノ必要トスル主要食糧及其ノ他ノ必要物資ヲ充實確保スルハ大東亞建設上緊要不可缺ノ要務ナルヲ以テ農山漁村ニ在リテハ官民總動員ヲ以テ之ガ増産確保ニ努メ來リタル處昭和十七年ニ於ケル米穀等主要農産物ハ激甚ナル旱水害ノ影響ヲ蒙リ所期ノ生産ヲ擧ゲ得ラレズ朝鮮自體ノ需要數量スラ充實

一一五



シ能ハザル状態ニ在ルハ甚ダ遺憾トスル所ナリ又其ノ他ノ物資ニ付テモ大東亞戰ノ進展ニ伴ヒ益々之ガ充實確保ヲ圖ルノ要アルヲ以テ本要綱ニ依リ農業報國運動ヲ展開シ之ガ生産ノ増強ヲ圖リ以テ農山漁村ノ負荷スル責務遂行ノ全キヲ期セントス

二二六

要 領

農業報國運動ハ來ル十一月二十三日新嘗祭ノ佳節ヲ起點トシ國民總力聯盟中心トナリ農山漁村一齊ニ之ヲ實施スルモノトシ差當リ左ノ項目ニ付之ヲ強調シ具體的實踐ヲ圖ルモノトス

一、強調スベキ事項

(一) 生産報國精神ノ昂揚ニ關スル事項

農山漁家ヲシテ時局ノ重大ナルヲ深ク認識セシメ如何ナル艱難ニ際會スルモ克ク皇國農山漁民タルノ本分ヲ確守シテ一意生産擴充ニ邁進シ艱苦ヲ擧ゲテ皇國ニ殉セントスル熱烈ナル報國精神ノ啓振作ニ努メシムルコト

(二) 生産擴充ニ關スル事項

其ノ地方ノ實情ニ應ジ重點主義ヲ以テ左ノ項目ニ付之ガ徹底的實行ニ努メシムルコト

(イ) 麥ノ肥培管理、綠肥ノ管理就中排水溝施設ノ整備

(ロ) 自給肥料ノ増産就中堆肥ノ増産、積込設備ノ設置及修理、原材料ノ蒐集草木灰ノ貯藏、人糞

尿ノ徹底の利用

(ハ) 秋耕ノ勵行

(ニ) 水路ノ修理、溜池ノ浚渫、井戸灌漑ノ掘鑿、堤堰ノ手入

(ホ) 原料葉ノ確保及糶臥ノ増産

(ヘ) 備荒種子ノ貯藏

(ト) 薪炭ノ増産

(チ) 漁具ノ手入

(三) 物資ノ供出ニ關スル事項

米麥等ノ主要食糧及棉花、木炭等ノ必需物資ノ供出ヲ率先勵行セシムルコト

(四) 食糧ノ消費規正及補足食糧ノ貯藏ニ關スル事項

其ノ地方ノ實狀ニ應ジ特ニ時期ヲ定メ左ノ事項ニ付之ガ徹底的勵行ニ努メシムルコト

(イ) 混食及代用食ノ勵行

(ロ) 補足食糧(木實、樹根、山菜等)ノ採取、貯藏

(三) 負債ノ償還及貯蓄ニ關スル事項

特ニ高利借ノ償還ニ努メシメ又販賣物代金ノ天引貯金ヲ勵行シ戰時下ニ於ケル農漁家經濟ヲ一層

二二七

緊要ナラシムルコト

二、實施方法

(一) 實行方法ノ決定

各級聯盟ニ於テハ、克ク關係機關ト協議ヲ遂グテ、特ニ計畫劃一的ニ流レズ、地方ノ特色ヲ充分織リ込ミタル具體的實行計畫ヲ樹テ、本運動ノ實效ノ萬全ヲ期スルコト

(二) 趣旨ノ周知

邑面及邑面聯盟ニ在リテハ、里洞區長、部落聯盟理事長ノ參集ヲ求メ、之ガ趣旨ノ徹底ヲ圖ル外、部落ニ在リテハ、十一月二十三日新穀感謝ノ祭典終了後、指導者臨席ノ下ニ、之ガ趣旨ヲ洽ク農漁家ニ周知セシムルト共ニ、之ガ宣誓セシメ、爾後必要ノ都度臨時常會等ヲ開催シ、之ガ趣旨ノ理解徹底ニ努ムルコト

(三) 指導督勵

實施事項ノ適確ナル實行ヲ期スル爲メ、左ニ依リ第一線ノ指導督勵ニ當ルモノトス

(1) 中央ニ於テハ、本府及國民總力朝鮮聯盟幹部道ヲ分擔シ、夫々出張督勵ニ當ルモノトス

(2) 地方ニ在リテハ、關係職員夫々郡島、邑面部落ヲ分擔シ、指導督勵ニ當ルモノトス

(四) 關係機關ノ協力支援

本運動實施ニ當リテハ、將ニ農會、金融組合、產業組合、水利組合、漁業組合、山林會、關係學校、農民道場、民間公職者、有力者、會社、農場、地主等ニ對シ、其ノ趣旨ヲ充分徹底セシメ、積極的ニ之ガ協力支援ヲ求メ、協力一致之ガ實效ヲ收ムルコトニ努ムルコト、尙地主報國會等ノ組織アル向ニ在リテハ、特ニ右團體ノ活動ヲ促進シ、農業報國具現實行ノ爲、挺身セシムルヤ、措置スルコト

5. 修養鍊成ノ徹底的實踐要綱

(昭和十八年二月一日政務總監通牒)

朝鮮總督府ハ國民總力朝鮮聯盟ト表裏一體左ノ要綱ニ依リ官民ノ全般ニ互リ修養鍊成ノ徹底的實踐ヲ遂行シ、以テ國體ノ本義ニ透徹セシメ、道義朝鮮ノ確立ヲ期ス

(一) 朝鮮總督府ニ皇道修鍊院ヲ新設(四月)シ、之ニ關スル事務ヲ學務局鍊成課ノ所管トス

皇道修鍊院ハ日本精神及日本の世界觀ヲ究明シ、直接指導者ノ鍊成ヲ行フト共ニ、官民全般ニ互ル修養鍊成ヲ指導ス

(二) 鍊成ヲ左ノ四ニ區分シテ三月一日ヨリ之ヲ實施ス

1. 指導者鍊成

中央及地方ヲ通シ、官吏及民間ノ幹部並ニ幹部タルベキ者ヲ對象トス

2. 職域鍊成

別紙(イ)ノ如キ集團ヲ對象トス

3. 學校等ノ鍊成

別紙(ロ)ノ如キ學校及學校類似ノ機關ニ於テ修業中ノ者ヲ對象トス

4. 地方指導者鍊成

地方ノ指導者ヲ對象トス

(イ) 鍊成ノ實施要目左ノ如シ

1. 指導者鍊成

(イ) 鍊成ノ場所

皇道修鍊院附設道場(皇道修鍊院新設迄ハ適宜選定ノ道場)

(ロ) 鍊成期間

一期平均二週間トシ被鍊成者ニ依リ一週間乃至一月間ニ於テ適宜之ヲ定ムルモノトス

(ハ) 鍊成ノ方法

嚴格ナル規律ノ下ニ起居セシメ被鍊成者ト鍊成期間ノ長短ヲ考慮シ適宜國體學、古典、日本の

世界觀等ヲ講習セシムルト共ニ靜座「みそぎ」等ノ行及武道、教練、體操、勤勞作業ヲ併課ス

(ニ) 經費

指導者鍊成道場ニ於ケル食費等ハ被鍊成者ノ旅費手當中ヨリ實費ヲ負擔セシム

2. 職域鍊成

(イ) 鍊成日ノ設定

全幹ヲ通シ毎週月曜日ヲ鍊成日ト定ム但シ當日休日ナルトキ又ハ雨天等ノ爲メ豫定ノ行事ヲ實

施シ難キトキハ順延ス

(ロ) 鍊成日ノ行事

官公署、公共團體、會社、銀行、各種組合事務所等ニ在リテハ出勤定刻前三十分乃至一時間半、

工場、鑛山、事業場等ニ在リテハ指導者ノ定ムル適宜ノ時限及時分ニ於テ嚴格ナル規律ノ下ニ

概ネ左ノ行事ヲ行フ

一 國民儀禮

二 體操及教練

時宜ニ依リ訓話、勤勞作業其他ノ行事ヲ以テ之ニ代フ

右ノ行事ニハ女子ヲ參加セシメ女子儀禮及薙刀ノ習得等ヲ以テ男子ノ教練ニ代フコトヲ得

警防團、鐵道愛護團ハ能フ限リ之ヲ鍊成日ニ召集シ概ネ同一行事ヲ行フモノトス

3. 學校等ノ鍊成

學校（女子ヲ含ム）ニ在リテハ職域鍊成ニ關シ定メタル鍊成日ニ於テ適宜ノ時限及時分ヲ定メ職域鍊成ニ準シ行フモノトス

但シ訓話又ハ勸勞作業ヲ主トスベシ

官吏等ノ養成機關及之ニ準ズルモノニ在リテハ修業者ノ年齢ニ應ジ鍊成日ニ於ケル行事ヲ前項學校等ノ鍊成又ハ職域鍊成方式ニ據ラシムルノ外、指導者鍊成ニ於ケル「鍊成ノ方法」ヲ參酌シ被鍊成者ノ素質ニ應ジ常時之ニ適應シタル鍊成ヲ行フモノトス

4. 地方指導者
地方鍊成道場ニ於テ1.ノ指導者鍊成ニ準ジ之ヲ行フ

別紙 (一)

職域鍊成ヲ受クベキ者

一、左ノ如キ官公署及公共團體ノ職員
(一) 總督府（含外局）、道廳、府郡島廳、警察署、邑面事務所等

(二) 地方遞信局、貯金管理所、主ナル郵便局等

(三) 地方鐵道局、鐵道事務所、主ナル驛、保線區、機關區及工場等

(四) 地方專賣局、主ナル專賣局出張所及工場等

(五) 税關及主ナル税關出張所等

(六) 稅務監督局及稅務署等

(七) 法院、檢事局、法院支廳、檢事分局、保護觀察所及刑務所等

(八) 營林署

(九) 官廳各種出張所、検査所及試驗場等

(十) 道立醫院、學校附屬病院等

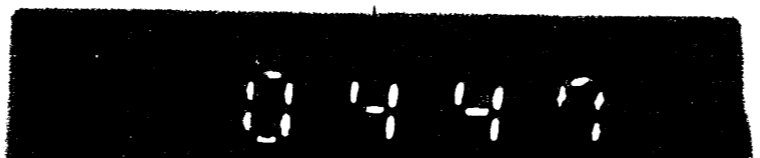
(十一) 其ノ他鍊成ヲ行フコトヲ要スト認ムル官公署、公共團體等

二、警防團員、鐵道愛護團員、約十九萬五千人
三、主ナル會社、銀行、各種組合、工場、鑛山及事業場等ノ職員（勞務者ニ對シテモ成ルベク職員ニ準ジ鍊成ヲ行フコト）

別紙 (二)

學校等ノ鍊成ヲ受クベキ者
一、中等學校以上ノ學生、生徒、約五萬人

二、左ノ如キ各種ノ官吏等ノ養成機關又ハ官吏再教育機關ニ於テ修業中ノ者、約二千五百人



機關名	入所生資格	人員	期間	教授科目程度	所在地
地方官吏養成所	列任官資格者	五〇	六月	專門程度	京城
稅務官吏養成所	列任官資格者	五〇	一年	專門程度	京城
選信從業員養成所	國民學校修了以上	二九〇〇	一年	中等學校程度ノ實務	京城、成興、釜山
選信吏員養成所	國民學校修了以上	五〇〇	一年	中等學校程度ノ實務	京城
刑務官練習所	國民學校修了以上 看守ノ現職者	二六〇〇	四月	中等一、二年程度	京城
警察官練習所	國民學校卒	四〇〇	四月	中等一、二年程度	京城
林業技術員養成所	中等學校卒業又ハ乙種實業卒	五〇	六月	中等ノ林業程度	京城
農業土木技術員養成所	第一種 專門學校 第二種 中等學校	二〇〇	六月	專門以上程度	京城
巡査練習所	國民學校修了	五〇	四月	中等一、二年程度	各道々廳所在地
稅務官署職業講習所	國民學校修了	五〇	二年	中等學校程度	京城
邑面吏員養成所	國民學校修了	各道區々 二〇〇人 五〇人	六月	中等一、二年程度	各道々廳

三、青年訓練所生徒 約九萬七千人
 四、青年特別鍊成所生 約十二萬人
 五、農民訓練所等各種訓練所ニ入所中ノ者

昭和十八年三月二十五日印刷
 昭和十八年三月三十一日發行

朝鮮總督府

